



(回答結果) ※回答は複数項目回答となっています。

	耕作する	自己保全	貸したい	売りたい	耕作中	耕作不能	その他	合計
面積	10 ha	43 ha	39 ha	25 ha	9 ha	39 ha	25 ha	190 ha
筆数	135 筆	818 筆	692 筆	532 筆	207 筆	744 筆	532 筆	3,660 筆

農業委員会では、平成23年に農業委員を通じて行った農地パトロールによる耕作放棄地441haの所有者2,827人に対し、遊休農地の意向調査を実施したところ、2月末現在で全体の41%の回答をいただきました。回答いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。今後は、今回の結果をもとに、遊休農地解消へ向け活動を展開していきますので、皆さんのご協力をお願いします。なお、集計結果は次のとおりです。

遊休農地の意向調査結果をお知らせします

☎050(3381)5000 農業委員会事務局

生ごみ処理機器を購入する世帯に購入費の一部を補助します

☎050(3381)5041 環境課

市では、生ごみ処理機器を購入する世帯に購入費の一部を補助しています。※新規の購入だけでなく、一定期間経過後であれば、取り替える場合も補助対象となります。

補助金額



購入額の2分の1(100円未満切捨て)
限度額 20,000円
1世帯1台まで



購入額の2分の1(100円未満切捨て)
限度額 3,000円
1世帯2個まで

- 補助の要件
 - (1) 市内に住所を有し、かつ、居住している人
 - (2) 市内の販売店から購入すること
 - (3) 電気式生ごみ処理機については5年間、処理容器については3年間、補助金の交付を受けた人が同一世帯にいないこと
- 申請方法など
 - 申請書に添付書類(領収書、仕様書、設置場所を示した地図)を添え、振込口座がわかるものを持参して、各支所または環境課へ申請してください。
 - 申請書は環境課または各支所にあります。また、市のホームページからダウンロードすることもできます。
 - ※先着順に受け付けを行います。予算額に達した場合は申請を締め切りします。

資源ごみ回収報奨金制度をご利用ください

☎050(3381)5041 環境課

市では、資源ごみの回収活動に対する助成制度を設けています。団体登録の受け付けは随時行っています。「やってみたい」、「取り組みたい」という団体*は、環境課にお問い合わせください。

※事前に団体の登録が必要です。

- 資源ごみ回収実施団体
自治会・PTA・子ども会・老人会・その他市長が認める市民団体
- 回収品目および報奨金
一般家庭から排出される資源ごみ(右記品目)に限る。
- 回収業者について
最寄りの廃品等回収業者および酒類販売店



種類	品目	報奨金の額
古紙類	新聞紙(広告紙含む)、雑誌、段ボール	1kgにつき 5円
古着類	衣類	
金属類	アルミ製空き缶、スチール製空き缶	それぞれ1本につき 4円
空きびん類 (リターナブルびん)	酒・醤油びん(1.8ℓ以上) ビールびん(633ml以上)、その他のびん	

アンナと林の「アンリン中伊報」

国際交流員 アンナ・スベッキオ(イタリア)と林 晶(中国)によるコラム

3月1日から7日までは、春の全国火災予防週間でした。南島原消防署の1日消防署長を体験した2人は、あるものを見てびっくり!消防署にあるとびっくりする白いアレとは?



用心の歌を歌ったり、無事任務を終えることができました。消防署員の皆さんが、火を消すだけでなく、一生懸命訓練したり、防火意識の啓発に力を入れていることに、とても驚きました。(林)

Vol.7 1日消防署長

実は中国もイタリアと同じで、救急業務は、消防ではなく医療機関が行っています。さて、一日消防署長の経験は、私にとってもとても貴重なものでした。まず署長の制服を着用し、委嘱状交付式に参列。とてもあらたまった雰囲気、ちよっとドキドキ。その後は、消防署内を見学したり、幼稚園を回って「火の用心の歌」を歌ったり、無事任務を終えることができました。



当日はともて緊張しました

「気をつけ!Attention(アテンション)」...このセリフ、ずっと言っていたかと思っていました。神様、ようやく私の願いを叶えてくれたんですね。実は、3月1日に委嘱を受け、南島原消防署長を体験させていただきましたのですが、このときあんなに興奮してびっくり!救急車があるではありませんか!イタリアでは、救急車は病院にあつて、消防署にはありません。とはいえ、市民の安全・安心のために毎日仕事をする日本の消防士は本当にすごいですね。衝撃的な今回の体験は、永遠に記憶に残るものではないでしょうか。(アンナ)



皆さん、こんにちは。いよいよ若草の萌え出す季節となりましたが、今回の記事が私、林の最後の記事になります。今月の9日に南島原市と別れて故郷の福建省に戻ります。この1年、皆さんのおかげで、充実した日々を楽しく過ごすことができました。いろいろなイベントに参加して、たくさんの人たちと触れ合い、いい交流ができました。一番印象深いこと。それは、地元のみまわりテレビでの「楽々アンリン」の撮影です。5分間ですけど、テレビ講座を通して中国語と中国文化を紹介することができました。いつも皆さんから「りんさん、番組を見たいですよ」と声を掛けてもらってとても嬉しかったです。一番感動したこと。たくさんありますね。周りはいつも異国から来た私を家族のように接してくれました。今年の1月、同僚から年祝いまでしていただき、皆さんからの優しさで温かくなりました。1年の交流時間はとても短かったですが、リンにとって南島原市での思い出は一生の宝物です。この美しく温かい南島原市に、ぜひまた来たいと思います。再见!!(また会いましょう)

再见!!



林さん、今までありがとうございました

今までありがとうございました



わが国は、一年生が生まれるときに、たすけあげたいです。テーマ「新しい学年になつてがんばりたいこと」南島原市立小中学校 2年 名刺みず田ののか

8代目ウルトラマンとして責任をもって1年生のお世話をする。テーマ「新しい学年になつてがんばりたいこと」南島原市立小中学校 6年 名刺 陸久

